165　塔

室生寺　五重塔　　一基

奈良時代（八世紀）

三間五重塔婆　桧皮葺

高さ約16mのやや小柄であるが、周囲の木立とよく調和した美しい五重塔で、「弘法大師一夜造り」の伝説をもつ。柱にはわずかに胴張りがあり、三手先の組物や丸い地垂木など、様式上から奈良時代後期の建立とみられ、寺の創建時のものと考えられる。

奈良県宇陀郡室生村室生78　0745（93）2003　近鉄大阪線室生口駅からバス室生寺前下車
観覧　8:30～16:00（11～3月）　8:00～17:00（4～10月）